

日本のオリエンテーリングの未来に向けて
JOA 財政改革と活性化方策についてのご説明と協力をお願い
(公社) 日本オリエンテーリング協会

はじめに

JOA の現在の財政状況を改善し、日本のオリエンテーリングの普及と発展の財政的な基盤を確立するため、会員と愛好者の方々の負担増になる財政改革のプランを、6月に提示いたしました。JOA 理事会では、それ以来、会員の財政課題に対応する方策、競技者・愛好者の皆さんの楽しみや達成感につながるオリエンテーリング環境の提供について検討してきました。

ここに改めて会員と愛好者の皆さんに、財政改革のためのお願いとその具体的方策についてご説明し、オリエンテーリングを活性化するためのプランをご提案します。また、活性化方策について、皆さんの積極的なご提案をお待ちします。

オリエンテーリングの持つポテンシャルを活かし、社会に貢献するとともに仲間を増やす。それを通して日本のオリエンテーリングの未来を生み出すためには、皆様のご理解と協力が不可欠です。

I JOA のビジョン

ワクワクするようなオリエンテーリングの未来への活動にオリエンテーリング関係者の力を結集するため、JOA が大切にしたいもの、目指すべきものを示しました。

「地図を手に 明日へと駆ける」 — 日本オリエンテーリング協会 —

- 日本と世界をオリエンテーリングでつなぎます。
- フェアプレーを応援します。
- 社会に役立つスキルを広めます
- オリエンテーリングを楽しむ仲間を増やします。
- ※これらのメッセージの解説については、最終ページに示します。

II 財政改革の骨子とその必要性

オリエンテーリングが競技スポーツとして存続・発展するために、現在の事務局の維持は不可欠です。日本体育協会のある岸記念体育会館に事務所を置き、常時職員により事務を存続させるための約 750 万円の費用（※）を、会費収入、指導者登録料、競技者登録料によってまかなうことで、将来にわたる財政状況の安定を図ります。

※事務局維持の固定費の内訳概算は人件費 350 万円、事務局賃貸料（光熱費含む）170 万円、団体負担金（日本体協、IOF 他）100 万円、交通費 90 万円、その他 40 万円

- ◎会費からの組織育成費を廃止し、実質会費を 10 万円とします。
- ◎競技者登録料を 5000 円とします（3000 円を JOA に、2000 円を各都道府県に配分し、会員の増収を図ります）。
- ◎指導者登録料からの組織育成費を廃止します（2017 年度よりスタートします）。ただし初年

度登録費は登録した会員へと全額配分します。

Ⅲ 会員支援策：一人一人の小さな積み重ねを大きな援助へ：

現在の大会参加費や地図代は、大会運営や地図作製にかかる労力に比べて低い水準にあります。参加費・地図代を適正化し、生まれた資金を活かすことが普及・発展の大きなドライビングフォースになります。

大会参加費、地図代に会員支援の財源を求めることで、広く浅く支援財源を確保し、経済的に厳しい状況にある会員を支援するとともに、普及・発展のためのプロジェクトを進めます。

1) 会員への財政的支援

財政的に厳しい会員に対し、その状況に応じて最大7万円の支援を行います。支援額の総額は120万程度を見積もっています。

2) 会員支援の財源確保方策

①公認大会の参加費に支援のための支援金を上乗せして設定します（たとえば、現在3000円の参加費を3500円程度に設定する）。

②一般大会参加費に、支援のための金額の上乗せを依頼します（たとえば、現在1500円の大会参加費を2000円程度にすることを依頼します）

③地図について1枚100円程度の支援金の上乗せによる販売を依頼します。

これらの支援金により、1)の120万円を確保します。それを超える支援財源が集まった場合、普及活動のリソースがない会員、退会した元会員、これから協会が設立される県への積極的な支援プロジェクトを行います。実績による試算では①公認大会の支援金のみで120万円の半額強が集まります。②③による財源が、会員への前向きな支援につながります。

※これら詳細についてはJOAのウェブ掲載の資料をご覧ください。

Ⅳ 活性化案

競技者登録費をご負担いただく競技者・愛好者の方が生涯にわたりオリエンテーリングを楽しめる環境を整備します。

①地域活性化委員会を設置しました。これにより、財政的に困難な会員、未組織県での協会設立・普及・指導者養成活動を支援します。

②学連との協働によって学生登録者の卒業後の登録を促進します。

③ワールドゲームズやユニバーシアードなどマルチスポーツ大会を通じた競技普及に努めます

④ランキング制度の充実、速報化を図り、競技性を高めます。

⑤プレスリリースの発行などオリエンテーリング界外へのPR活動を充実させます

⑥大会・地図・クラブ等の表彰制度によって運営者の地位を高めます。

⑦ロゲイニング大会の実施・後援やナビゲーションスキルの提供を通して、オリエンテーリングのブランディングや普及を図ります。

⑧JOAニュースやメールマガジンによる会員、競技者登録者向け情報の提供を充実させます。

V その他の施策

1) JOA 自身の支出削減について

2005 年以来、事務局では主催大会開催経費の節減、パートによる勤務体制など、経費節減に努めて参りました。現在事務局維持経費は約 750 万円であり、事務所の賃貸料・光熱費、事務所維持の人件費をまかなっています。現在の支出から、広報費や財務管理など約 30 万円の支出削減を図ります。

2) 増収に向けて

定着したナビゲーションゲームズ広報協力費の値上げ（※）、研修・イベント受託、オリエンテーリング愛好者の人的ネットワークの活用、関連物品の販売、協賛獲得などで増収を目指します。

（※ 来年度約 20 万円の増収が見込まれています）

本来はこのような財務基盤を整える改革をもっと早くに着手すべきだったと反省しています。

オリエンテーリングが持続可能であるためには、財務改革とビジョンに沿った継続的な活動が必須と考えております。

なにとぞ、皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

2015 年 10 月 20 日
(公社) 日本オリエンテーリング協会会長
山西哲郎
(2015 年 12 月校正)

※ビジョンサブメッセージ説明

サブメッセージは JOA の任務とともに具体的やターゲットを示します。

I 日本と世界をオリエンテーリングでつなぎます。

JOA の存在意義の核心は、日本を代表し、世界とつながることです。日本を代表し国際組織 (IOF) に加盟することで、選手の活躍の舞台を保障し、スタッフを提供する国際貢献に努めます。世界からの情報を日本国内に提供し、日本の情報を世界に発信してゆきます。オリエンテーリングを代表して日本のスポーツ組織に加盟し続けます。

II フェアプレーを応援します。

競技スポーツの根幹である競技の質を、規則の維持更新を通して確保・向上させます。大会や地図の品質水準が確保されることで、努力や挑戦が適切に評価され、勝っても負けても晴れがましく競技を楽しむことができる状態を「フェアプレー」という言葉で表現しました。そのためにアンチドーピングも推進してゆきます。

III 社会に役立つスキルを広めます。

オリエンテーリングには、地図作成、ライフスキルとしてのナビゲーションの修得、自然の中での競技会のスムーズな運営など、社会に役立つスキルやノウハウが蓄積されています。これらを役立て社会に貢献します。

IV オリエンテーリングを楽しむ仲間を増やします。

より多くのオリエンテーリング愛好者を得ると同時に、それらの人々とオリエンテーリングの楽しみを分かち合うことを目指します。このスポーツの良さを広報し、指導者を育成してゆきます。